



2023 業務概要

OUTLINE OF PROJECT

いつもの暮らしが
もっと豊かになる
国土づくりをしています

日本海沿岸東北自動車道
酒田みなと～遊佐



[酒田河川国道事務所の使命]

川づくり 道づくりを通じ、地域のさらなる発展に向け、心をこめてお手伝いします。

それが私たちに与えられた使命と信じています。

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所では、山形県庄内地方において「最上川」と「赤川」の河川事業、国道7号、国道47号、国道112号、日本海沿岸東北自動車道(日沿道)の道路事業による社会基盤の整備を通して、地域の生活とかかわり続けています。

災害に強く、安心して快適に暮らせる地域づくりのために、地域のみなさんと一緒に事業を進めてまいります。

- ① 災害に備え、地域を守る危機管理
- ② 安全・安心をもたらすインフラの活用と管理
- ③ 地域の発展に資するインフラの整備
- ④ 地域づくり支援

目次

◆ 酒田河川国道事務所の概要 (P2)

◆ 河川事業 (P3～P6)

- 住民の生命と財産を守る
(最上川下流河道掘削、赤川中流部河道掘削、赤川堤防強化)
- 自然との交流・賑わい・健康づくりのレクリエーション拠点
(鶴岡市赤川かわまちづくり事業)
- 河川の維持管理

◆ 道路事業 (P7～P16)

- 広域交流・地域活性化を促進(高規格ネットワークの整備【日沿道・新庄酒田道路】)
- 快適で円滑な交通の確保(管内の事故・渋滞対策事業)
- 道路の維持管理

◆ 危機管理 (P17)

- 災害対応

◆ 地域づくり (P18)

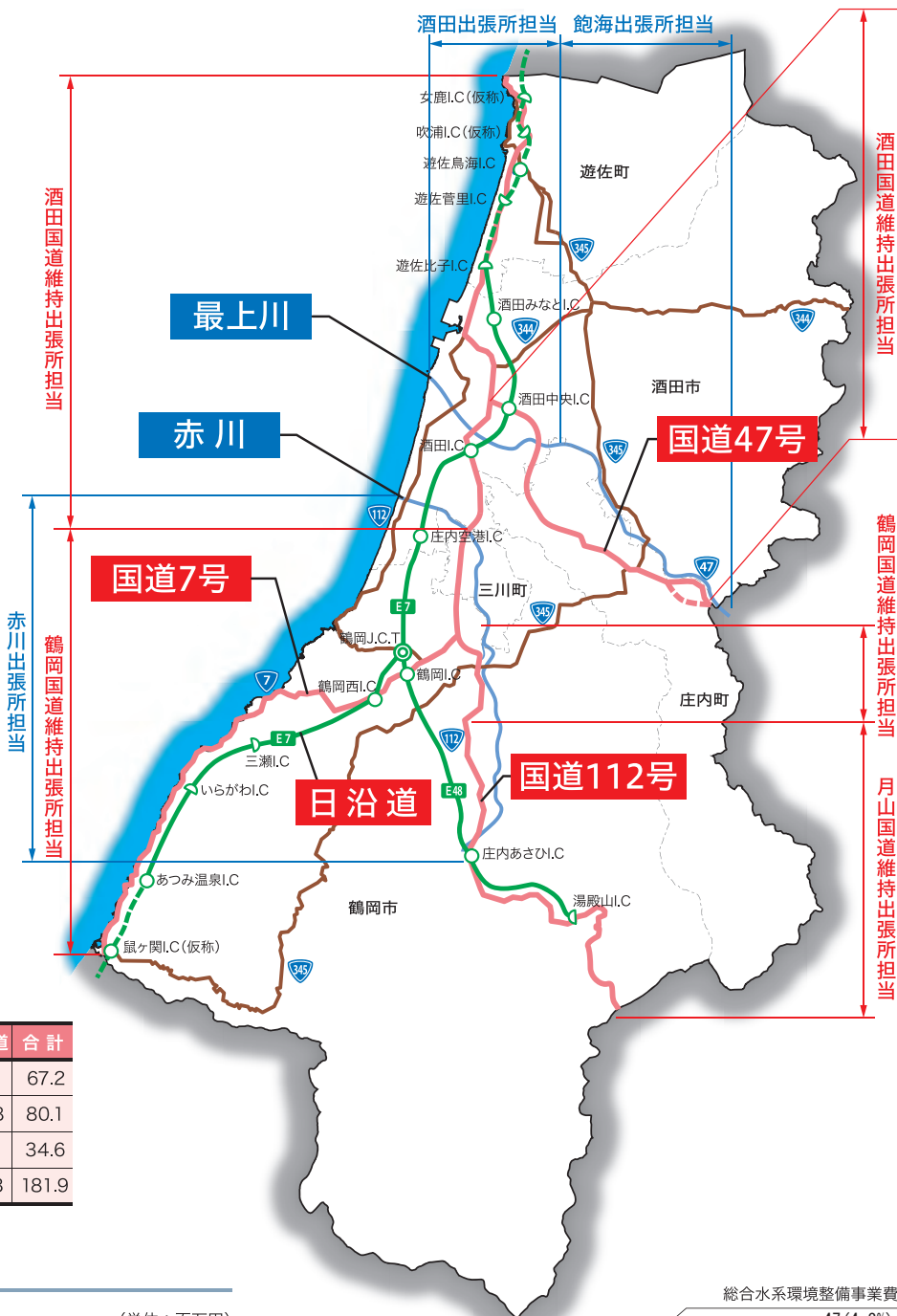
- 地域との連携(ボランティア活動、学習支援等)

酒田河川国道事務所の概要

【河川管理延長 (km)】

最上川				
河川名	本川	京田川	立谷沢川	相沢川
酒田出張所	12.9	4.2	-	-
飽海出張所	18.1	-	0.5	1.5
計	37.2 (最上川本川31.0)			

赤川			
河川名	本川	内川	大山川
赤川出張所	33.0	2.0	2.5
計	37.5		



【道路管理延長 (km)】

	7号	47号	112号	日沿道	合計
酒田国道維持出張所	36.5	25.2	-	5.5	67.2
鶴岡国道維持出張所	47.2	-	8.1	24.8	80.1
月山国道維持出張所	-	-	34.6	-	34.6
合計	83.7	25.2	42.7	30.3	181.9

令和5年度事務所事業費

【当初予算】

(単位：百万円)

区分		令和5年度 当初事業費
河川	河川改修費	666
	河川工作物関連応急対策事業費	380
	総合水系環境整備事業費	47
	計	1,093
道路	改築関係事業費 (直轄高速事業 日本海沿岸東北自動車道含む)	14,086
	道路環境整備事業費(交通安全事業等)	561
	計	14,647
合計		15,740

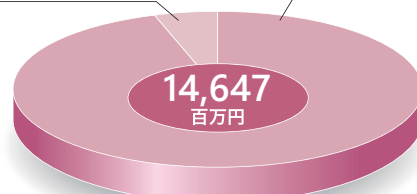
注) 工事諸費等を除く金額

注) 河川・道路ともに「維持修繕関係事業費」、「災害復旧費」、「雪寒地域道路事業費」を含まない。

◎河川関係 (当初予算)
河川工作物関連応急対策事業費 380 (34.8%)
総合水系環境整備事業費 47 (4.3%)
河川改修費 666 (60.9%)

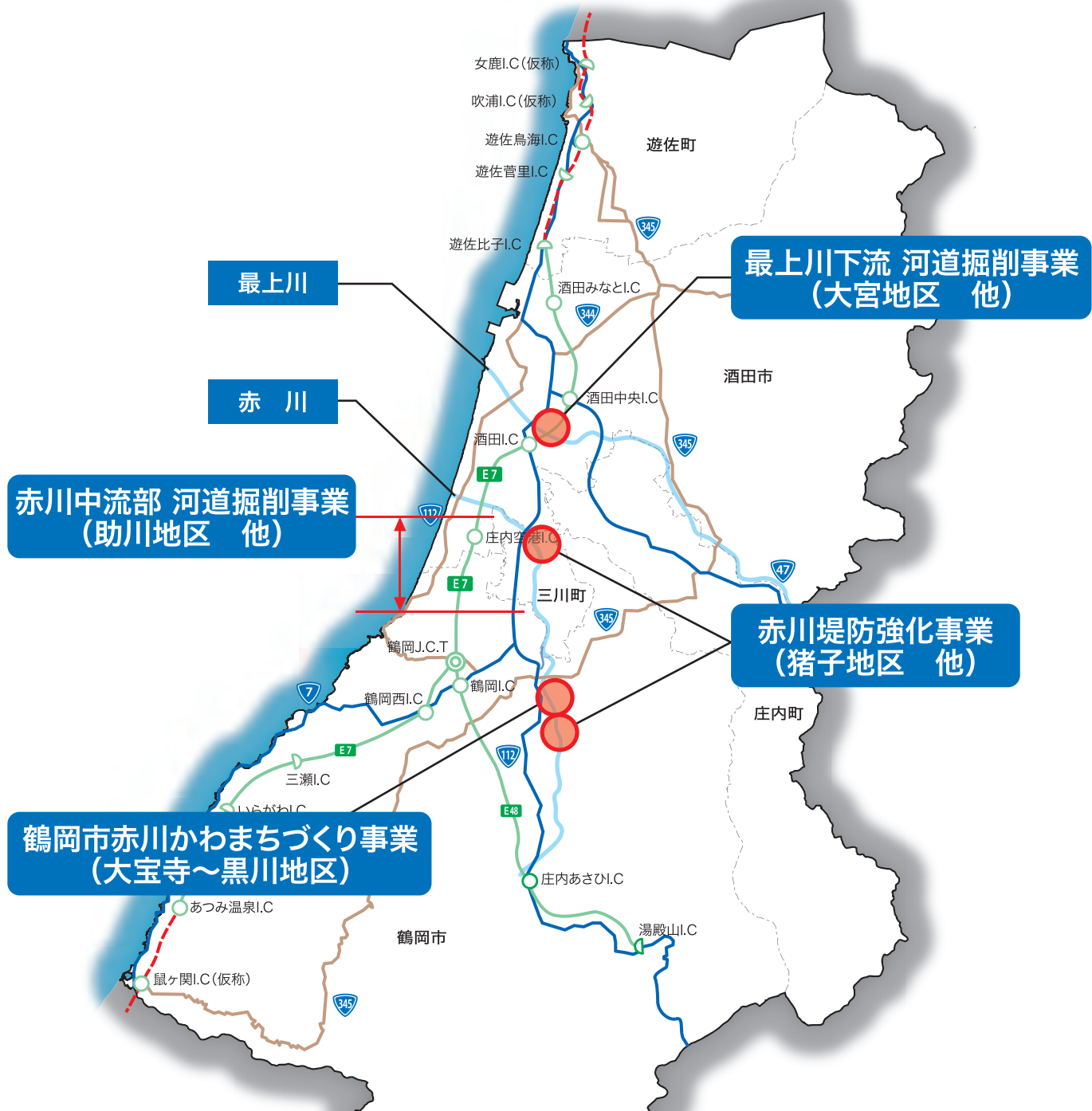


◎道路関係 (当初予算)
道路環境整備事業費(交通安全事業等) 561 (3.8%)
改築関係事業費(直轄高速事業 日沿道含む) 14,086 (96.2%)



酒田河川国道事務所 河川事業の概要

河川事業



◎洪水被害から住民の生命と財産を守る

- 最上川下流河道掘削事業【大宮地区 他】
- 赤川中流部河道掘削事業【助川地区 他】
- 赤川堤防強化事業 【猪子地区 他】

◎自然との交流・賑わい・健康づくりのレクリエーション拠点

- 鶴岡市赤川かわまちづくり事業【大宝寺～黒川地区】

◎河川の維持・管理

- 水利権、河川敷利用の適切な管理と調整
- 不法投棄の監視と対応
- 水質の監視と対応
- 堤防除草
- 管理施設の点検・補修
- 出水時等における状況把握巡視
- 水文(水位・流量・雨量)の観測、データ提供

住民の生命と財産を守る(最上川下流河道掘削事業)

最上川下流部において河道掘削を実施

平成30年8月豪雨等の近年の災害を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、流下阻害等によって、洪水氾濫による著しい被害が生じる区間において、河道掘削・樹木伐採を実施し、安全性の向上を図ります。
※掘削した土砂は、日本海沿岸東北自動車道等で有効に活用されています。

●事業箇所:酒田市九木原～砂越

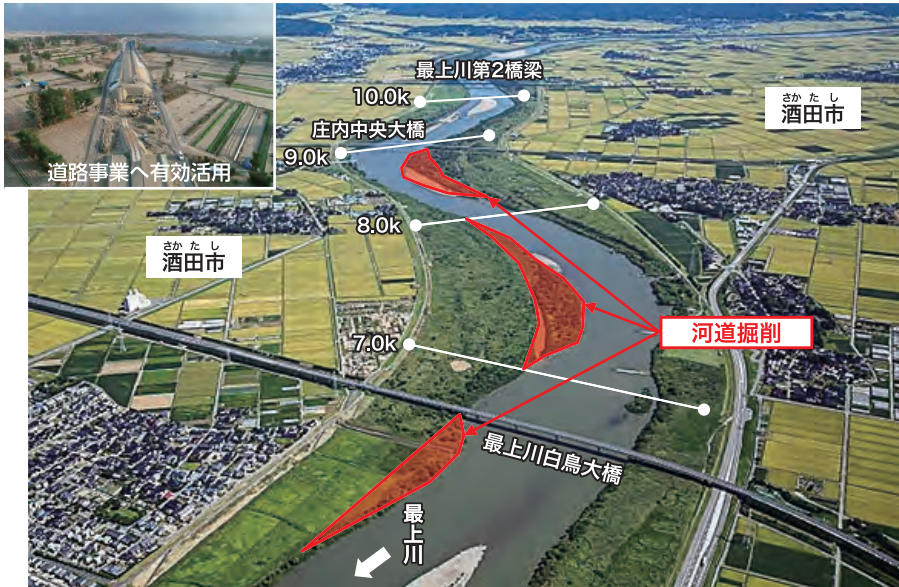
●事業着手:平成30年度

※令和5年度

最上川下流河川改修事業費:373百万円

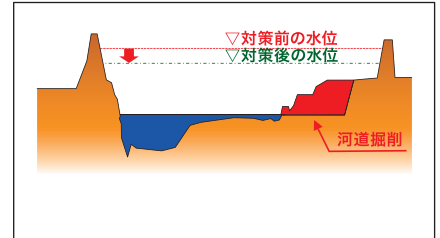
〈令和5年度実施内容〉

○河道掘削 V=17,000m³(予定)



※図の事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和5年度の事業範囲のみを示すものではありません。

河道掘削イメージ



住民の生命と財産を守る(赤川中流部河道掘削事業)

赤川中流部において河道掘削を実施

赤川中流部において、堤防が決壊した場合、拡散型の氾濫形態により、広範囲に甚大な被害をもたらす恐れがあります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、洪水時の水位低下を目的に河道掘削を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

※掘削した土砂は、日治道道路事業及び圃場整備事業等で有効に活用されています。

●事業箇所:酒田市黒森～鶴岡市文下

●事業着手:平成11年度

※令和5年度

赤川河川改修事業費:293百万円

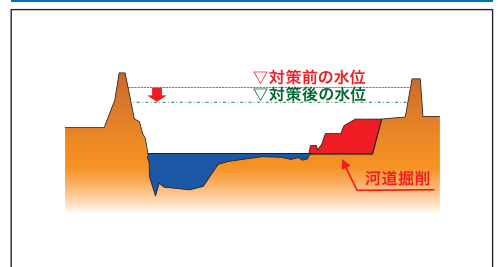
〈令和5年度実施内容〉

○河道掘削 V=10,000m³(予定)



※図の事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和5年度の事業範囲のみを示すものではありません。

河道掘削イメージ



「まち」と「水辺」が融合した空間の整備による地域の活性化

鶴岡市は、「恵まれた自然を活かし、自然と共に生きるまちづくり」を目標に掲げ、市民が自然と直接触れ合え、憩いと潤いのある親水空間を創出するための整備を推進しています。

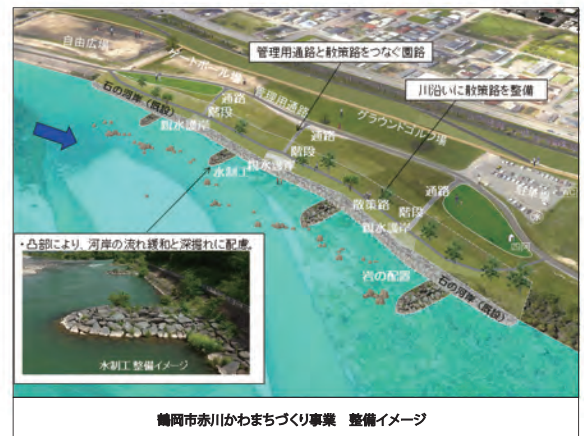
鶴岡市と連携し、河畔整備や親水護岸、堤防階段、堤防坂路等の整備を行い、地域の賑わいの創出を図ります。



- 事業箇所: 鶴岡市大宝寺地区(下流域エリア) ~ 鶴岡市黒川地区(上流域エリア)
- 事業着手: 令和2年度
- ※令和5年度
赤川総合水系環境整備事業費: 47百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 河畔整備(樹木伐採)(上・下流域エリアにて実施予定)
- 親水護岸(下流域エリアにて実施予定)



住民の生命と財産を守る(赤川堤防強化事業)

赤川猪子地区ほかの堤防強化対策に向けた検討

赤川堤防の地質状況を調査した結果、猪子地区等の堤防は洪水時、河川水の浸透による堤防決壊が懸念されています。このため、堤防機能を確保すべく浸透対策を実施し、安全性の向上を図ります。

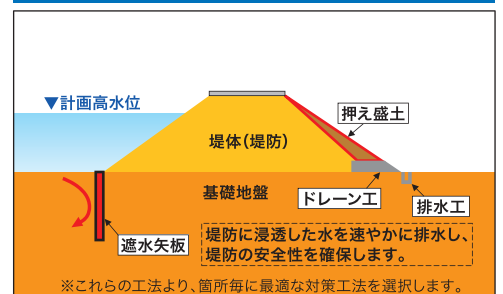


- 事業箇所: 三川町猪子ほか
- 事業着手: 令和2年度(猪子地区)
- ※令和5年度
赤川河川改修事業費:のうち10百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 浸透対策 L=400m(予定)に向けた検討

堤防浸透対策のイメージ



安心・安全な地域確立のため氾濫被害の最小化を目指す

最上川流域治水協議会

赤川流域治水協議会

近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、最上川、赤川それぞれの流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行う事を目的として令和2年9月に流域治水協議会を設立しました。

協議会では、各機関毎の対策メニューを策定し、それらに基づく進捗状況の共有や取り組み事例の紹介、フォローアップを行っています。

協議会構成員が連携して取り組む事項

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、床止め工改築
- ・砂防堰堤の整備
- ・雨水幹線の整備
- ・事前放流の実施、体制構築
- ・森林整備、治山対策
- ・水田貯留
- ・下水道施設の耐水化

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・流域自治体との洪水対応演習の実施
- ・マイ・タイムラインの普及促進
- ・広域連携による避難体制の強化
- ・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
- ・水防拠点の拡張・増設



第6回協議会開催状況 (R4.11.10)



「流域治水」の施策のイメージ

洪水被害の防止、適正な河川の利用に向けて

○洪水を安全に流下させるため、堤防等施設の機能維持に係る点検・整備、また河川水の利用や河川区域等の適正な利用等が図られるよう、調整やパトロールの実施など適正な維持管理に努めています。



河川パトロール



堤防や施設の点検



堤防除草



河道内樹木の伐採

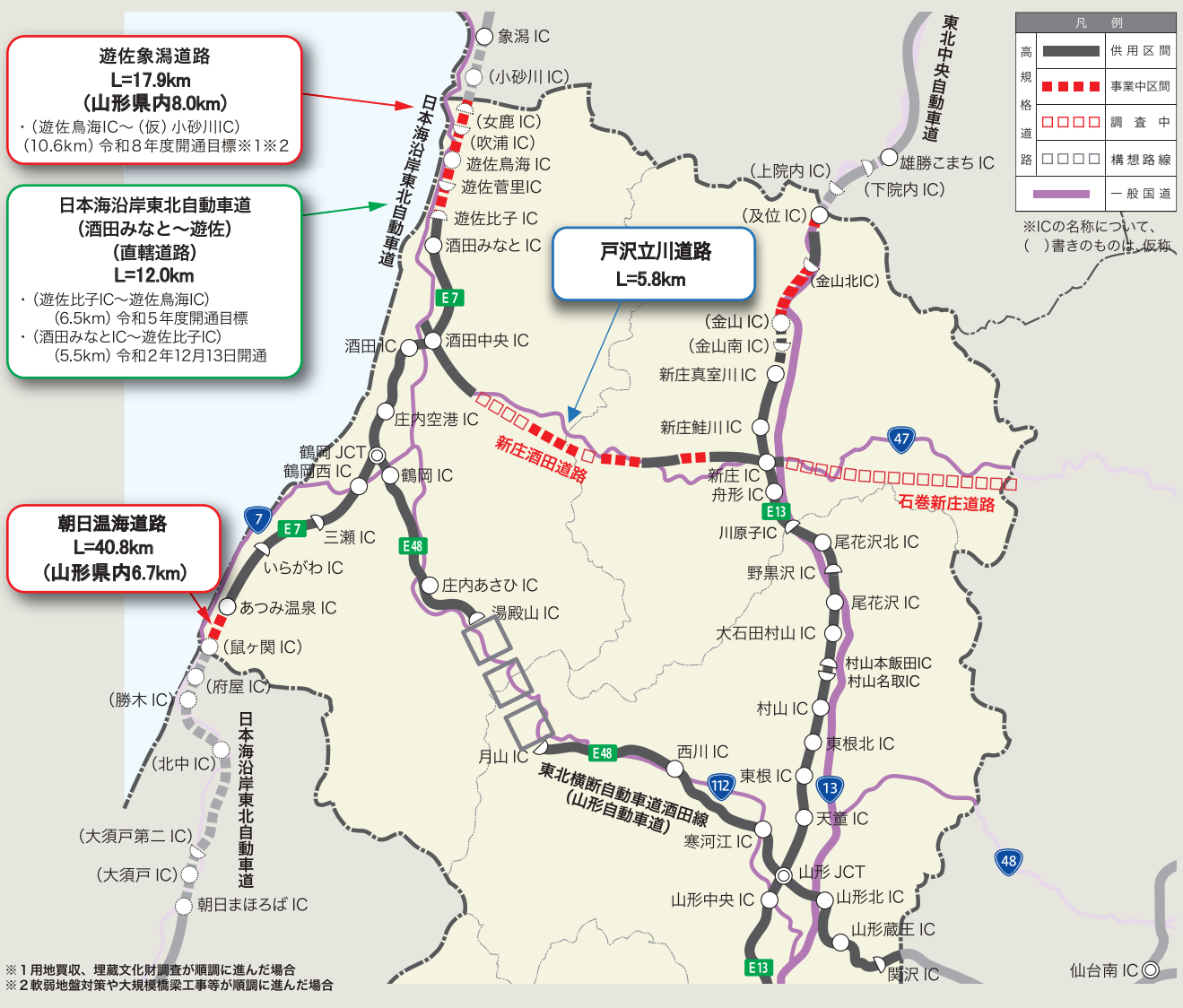


堰・水門等の施設管理



河川の流量調査等

庄内地方の高規格道路ネットワーク整備



◎広域交流の促進、地域活性化を支援する高速交通ネットワークの整備

- 高規格道路 ～日本海沿岸東北自動車道～
朝日温海道路、酒田みなと～遊佐、遊佐象潟道路
- 高規格道路 ～新庄酒田道路～
戸沢立川道路

◎快適で円滑な交通の確保

- 「管内事故ゼロプラン」の策定 ～管内における事故・渋滞対策事業～

◎道路の維持管理

- 道路巡回、除草、道路施設の維持、補修
- 冬期間の道路除雪、防雪柵の設置等

広域交流・地域活性化を促進（高規格ネットワークの整備【日沿道・新庄酒田道路】）

あさひ あつみ 国道7号 朝日温海道路（山形県内6.7km）

朝日温海道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、災害時の緊急輸送路の確保、高速ネットワーク形成による第三次救急医療施設へのアクセス性の向上、日本海側における交流・連携強化を図ることを目的とする道路です。



- 事業箇所：新潟県村上市～山形県鶴岡市
- 事業着手：平成25年度
- ※令和5年度事業費：3,450百万円

- 〈令和5年度実施内容〉
- 調査設計
 - 用地補償
 - 改良工事
 - トンネル工事
 - 橋梁工事

道路事業

さかた ゆぎ 日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐（12.0km）

酒田みなと～遊佐は、日本海沿岸東北自動車道の一部を構成し、高規格幹線道路ネットワークを形成するとともに、生活・産業・文化等の広域的な連携・交流の促進はもとより、観光振興支援、重要港湾へのアクセス強化、第三次救急医療施設への搬送時間短縮を目的とする道路です。



遊佐比子ICから秋田方面を望む



酒田みなとIC～遊佐比子IC間 交通状況（秋田方面から鶴岡方面を望む）

- 事業箇所：山形県酒田市～飽海郡遊佐町
- 事業着手：平成21年度
- ※令和5年度事業費：2,236百万円

- 〈令和5年度実施内容〉
- 調査設計
 - 支障移転補償
 - 橋梁工事
 - 改良工事
 - 舗装工事
 - 付属物工事

ゆざきさかた 国道7号 遊佐象潟道路 (山形県内8.0km)

遊佐象潟道路は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成し、秋田・山形県境地域の第三次救急医療施設へのアクセス向上、さらには災害時の代替路確保を図るとともに、高速ネットワークを形成し広域的な交流・連携の促進を図ることを目的とする道路です。



- 事業箇所：山形県飽海郡遊佐町～秋田県にかほ市
- 事業着手：平成25年度
- ※令和5年度事業費：8,250百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 調査設計
- 用地補償
- 改良工事
- 橋梁工事



(仮)吹浦高架橋イメージパース
遊佐島海ICから象潟方面を望む

とざわたちかわ 国道47号 戸沢立川道路 (5.8km)

戸沢立川道路は、新庄酒田道路の一部を構成し、高規格道路と一体となって広域道路ネットワークを形成し、物流・産業・観光・文化等の連携・交流の促進、災害に備えた道路ネットワークの強靱化を図ることを目的とする道路です。



国道47号の急カーブ、路面凍結状況

- 事業箇所：山形県最上郡戸沢村～東田川郡庄内町
- 事業着手：令和3年度
- ※令和5年度事業費：150百万円

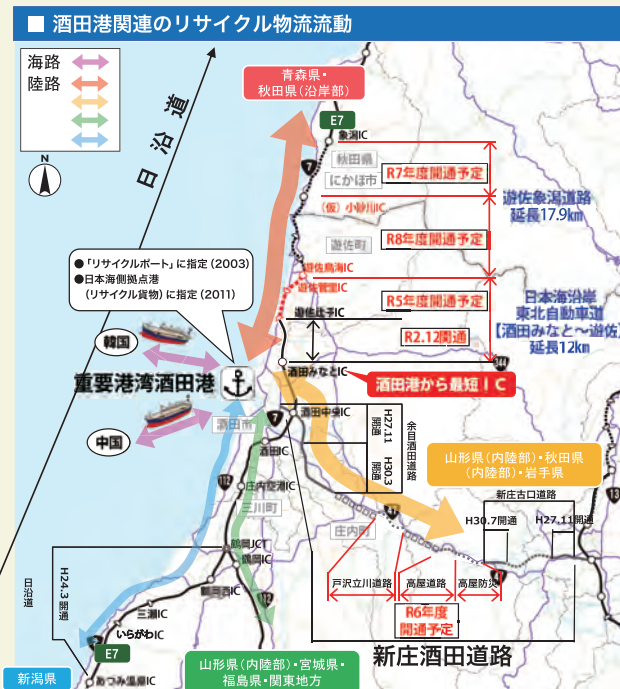
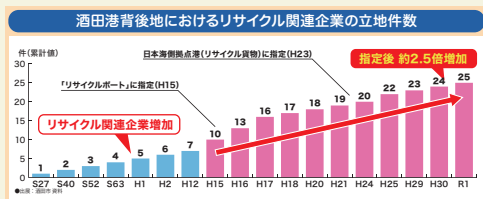
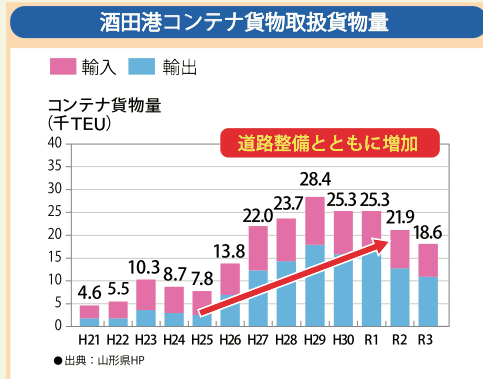
〈令和5年度実施内容〉

- 道路設計
- 用地調査
- 用地補償

高規格道路の整備効果

<日本海沿岸東北自動車道（酒田みなと～遊佐）、遊佐象潟道路、新庄酒田道路の事例>

- 重要港湾酒田港は、コンテナ貨物取扱量の増加に加え、「リサイクルポート」（2003年）、「日本海側拠点港（リサイクル貨物）」（2011年）に指定以降、リサイクル関連企業の立地も増加しており、物流の拠点となっている。
- 日本海沿岸東北自動車道や新庄酒田道路の整備により、酒田港からの高速ネットワークが形成され、更なる物流の効率化と、地域産業の活性化への支援が期待される。



快適で円滑な交通の確保（交通事故対策事業）

事故危険区間重点解消作戦（事故ゼロプランの策定）

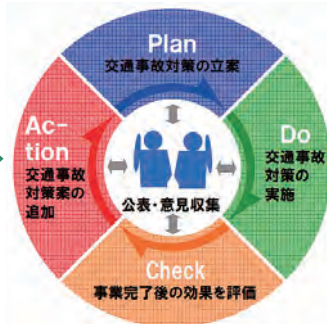
事故ゼロプランの進め方

交通事故対策

第三者委員会
地方公共団体等

意見

事故の危険性が高い
特定の区間を明確化



「事故危険区間」抽出の考え方

事故危険区間

A事後対策系

- ① 死傷事故率が全国平均以上の区間を抽出
- ② 重大事故につながる人・自転車に係る事故が発生した区間を抽出

B未然防止系

- ① 通学路で狭小幅員の区間を抽出
- ② 日頃のヒヤリハットが顕著な区間を抽出

対策実施事例 国道7号遊佐町吹浦地区 視距改良事業



▲改良前（平成25年9月撮影）



▲改良後（平成27年4月撮影）

交通対策事業実施箇所



番号・路線	事業箇所	整備概要	R5事業内容
①国道7号	福岡交差点改良 (酒田市)	・付加車線の整備等	調査設計、改良工事
②国道7号	興屋地区事故対策 (酒田市)	・付加車線及び歩道の整備	調査設計、改良工事 公共補償
③国道7号	白木交差点改良 (遊佐町)	・右折レーンの延伸等	調査設計
④国道112号	東原町地区事故対策 (鶴岡市)	・付加車線の整備	調査設計、改良工事

【国道7号】^{ふくおか}福岡交差点改良

○おばこ大橋から秋田に向かう交差点流入部が下り勾配で左折車両の後続車の急減速・停止による追突事故が多発しています。

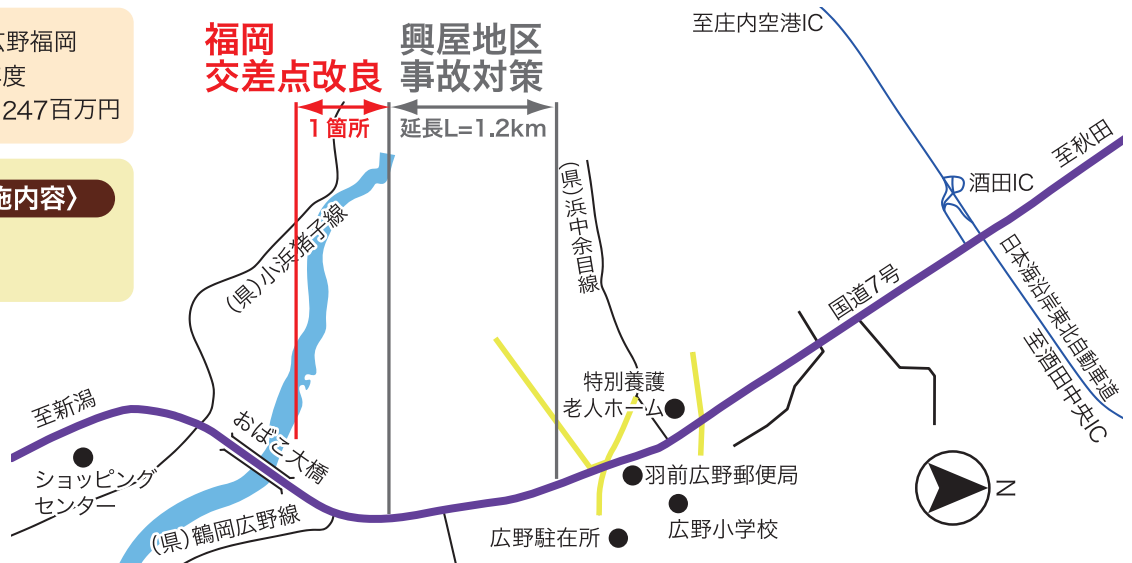
付加車線の整備、視認性向上によるカラー舗装等による交差点改良を行い、交通事故の削減・交通の円滑化を図ります。



- 事業箇所: 酒田市広野福岡
- 事業着手: 令和2年度
- ※令和5年度事業費: 247百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 調査設計
- 改良工事



【国道7号】^{こうや}興屋地区事故対策

- 交差点や沿道出入口付近での急減速による追突事故が多発しています。
- 混雑度が高く旅行速度が著しく低下する区間として主要渋滞箇所指定されています。

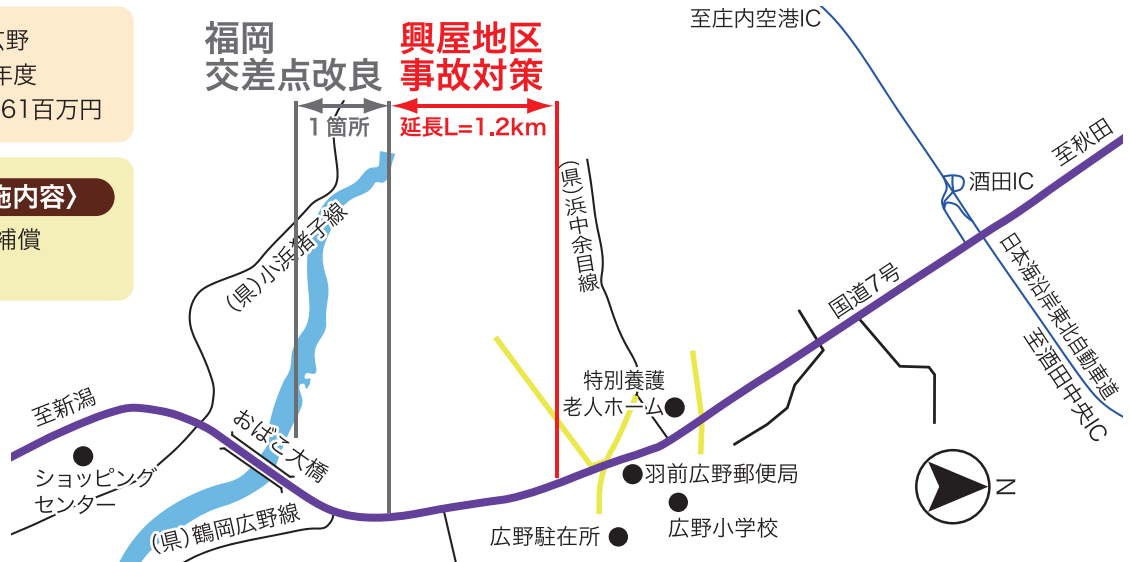
中央分離帯の設置、自歩道整備(下り線)を行い交通事故の削減・交通の円滑化を図ります。



- 事業箇所: 酒田市広野
- 事業着手: 平成28年度
- ※令和5年度事業費: 61百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 調査設計
- 公共補償
- 改良工事



【国道7号】^{しろき}白木交差点改良

- 国道7号から県道への右折交通量の増加により既設右折レーンからはみ出して車両が滞留し、直進車への走行阻害が発生しています。
- 県道から国道7号への左折時に大型車両がふくらむことによる危険事象が発生しています。

○右折レーンの延伸や隅切りの改良を行い交通事故の削減、交通の円滑化を図ります。

- 事業箇所: 遊佐町比子字白木
- 事業着手: 令和4年度
- ※令和5年度事業費: 32百万円

〈令和5年度実施内容〉

- 調査設計



【国道112号】ひがしはら まち東原町地区事故対策

- 右左折交通の増加により、既設右左折レーンからはみ出して車両が滞留し、直進車の走行阻害や減速に伴う追突事故が発生しています。
 - 沿道商業施設の出入口付近では、出入車両の右左折により、本線走行車両への走行阻害が生じ、追突事故や、歩行者、自転車の乱横断による危険事象が発生しています。
- ↓
- 右左折レーンの設置・延伸や中央分離帯の設置により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。

●事業箇所：鶴岡市東原町
 ●事業着手：令和3年度
 ※令和5年度事業費：221百万円

〈令和5年度実施内容〉

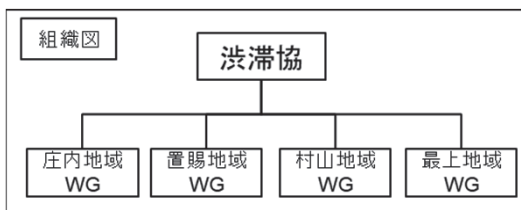
- 調査設計
- 改良工事



快適で円滑な交通の確保（渋滞対策）

山形県渋滞対策推進協議会

山形県内の慢性的な渋滞を解消し円滑な交通流を確保するため、関係機関が連携し渋滞対策について総合的な整備計画を策定することを目的として実施しております。



山形県渋滞対策推進協議会



庄内地域における主な取り組み

赤川花火大会渋滞対策

花火大会の渋滞緩和に向けて、関係者と一緒に時間、経路分散などのソフト対策やTwitterによる交通状況の情報発信に取り組んでおります。

【R4渋滞回避プロジェクト配布チラシ】

赤川花火大会 2022 渋滞回避プロジェクト
早く出発して、ゆっくり帰ろう

2022 8.20 打ち揚げ開始 19時30分

行き 山形市 → 鶴岡市方面
仙台市内からは 9時までに出発
山形市内からは 10時までに出発

帰り 鶴岡市 → 山形市方面
鶴岡市内から 25時までに出発

国道112号 月山道路は花火大会当日に混雑が発生!

行き 山形市 → 鶴岡市方面 所要時間 20分 → 60分
帰り 鶴岡市 → 山形市方面 所要時間 20分 → 40分

庄内地域における国道112号観光渋滞対策 (赤川花火大会)

「早く出発して、ゆっくり帰ろう」をテーマにH90より取り組み開始
○通常大会の開催は3年ぶりとなるため、令和元年度の実施時のデータを参考に対策を検討。さらに今年度は、SNSを活用し広報の強化に取り組む。

1. 体系的な渋滞対策と新たな取り組み

- 今年度も引き続き、実行委員会と連携を密に。
- 今年度新たに、酒田河川国道事務所のTwitterを用いて、リアルタイムの渋滞状況を逐次配信、情報をもとに行動の変更が行われることを期待。

2. 「行き」の月山道路(月山IC～湯殿山IC)の交通状況(令和元年度の実施時)

● 広報活動により出発時間が前倒しされ、渋滞の軽減を確認。引き続き出発時間の前倒への協力依頼を推進。

時間帯	H29(対策前)	R1(対策後)
10時台	23	15
11時台	22	22
12時台	33	24
13時台	48	45
14時台	55	47
15時台	47	60
16時台	50	57
17時台	55	47
18時台	24	19
19時台	18	18

3. 「帰り」の月山道路(月山IC～湯殿山IC)の交通状況(令和元年度の実施時)

● 広報活動により出発時間が前倒しされたものの、交通状況に変化はなし。引き続き「ゆっくり帰ろう」への協力依頼を推進。

時間帯	H29(対策前)	R1(対策後)
21時台	17	24
22時台	31	43
23時台	45	45
24時台	49	47
25時台	48	52
26時台	20	32

【Twitter で月山道路の交通状況を動画で配信】



道路利用者の意見反映

バス、トラック等の輸送事業者や観光事業者の意見聴取し、きめ細かい渋滞対策に向けて各道路管理者間で情報共有を図り、対策検討に活かします。

道路の維持管理

道路巡回、道路施設の点検、補修など適切な道路管理を行い、道路空間を良好に保ち、道路を安全安心で快適に利用できるよう、日夜努めています。

道路の維持管理

良好な状態を保つ

道路の機能保持



道路巡回



除草



緊急的な路面補修



道路照明灯の更新



防災対策(斜面崩壊の防止)



冬タイヤ装着確認と指導

道路の維持管理(冬期の道路管理)

○一般除雪、拡幅除雪、運搬排雪、雪底処理等を行い、冬期交通の確保に努めています。



除雪(道路の平坦化)



雪底処理



歩道除雪



運搬排雪(道幅を広げる)



雪崩危険箇所点検



凍結抑制剤散布(散布区間の可視可)

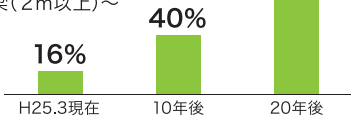
安全・安心を支える道路管理(老朽化への対応)

【道路施設老朽化対策】

○橋梁・トンネル等の道路施設について、適切に点検・修繕を実施するメンテナンスサイクルにより、インフラの長寿命化を図ります。

【急速に進行するインフラの老朽化】

建設後50年以上経過する施設の割合 **60%**
～橋梁(2m以上)～



国土交通省インフラ長寿命化計画(行動計画)より



点検

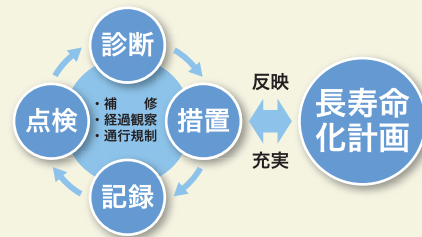


措置

【山形県道路メンテナンス会議】～国、県、市町村、県道路公社、ネクスコ東日本～

○県内の各道路管理者が連携し、道路施設の老朽化対策を進めるため、平成26年5月30日、「山形県道路メンテナンス会議」を設立しました。

【メンテナンスサイクル】



メンテナンスサイクルを持続的に回し、国民生活の安全かつ円滑な活動の確保及び効果的な道路管理を実現するため、技術研修会の開催や広報活動を実施しています。



R1山形県道路メンテナンス会議

R1.8.7



橋梁点検研修

国道7号宮高高架橋での高所作業車による近接目視点検

R1.9.11



溝橋点検研修

国道13号溝橋(村山市)での点検実習

R1.11.21

安全で安心な道路交通を支える(道の駅)



庄内道の駅協議会発足

平成28年度に庄内地域にある道の駅5駅が連携する協議会を設立し、様々な取り組みを協働して実施しております。

庄内道の駅協議会の取り組み

道の駅との連携(取り組み事例)



庄内道の駅共通のチラシ等のツールを作成し、各道の駅周辺のイベントや観光情報等の情報を発信します。

イベントチラシ

■電話番号

- 道の駅「月山」 (0235)53-3411
- 道の駅「あつみ」 (0235)44-3211
- 道の駅「鳥海」 (0234)71-7222
- 道の駅「庄内みかわ」 (0235)68-2500
- 道の駅「しょうない」 (0234)56-3039

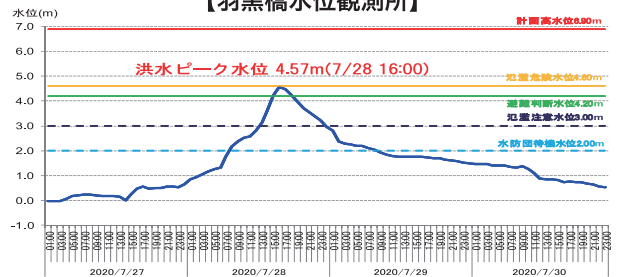
赤川の3水位観測所で観測史上最高水位を記録した出水への対応

- ◎前線及び低気圧の影響によって、令和2年7月27日から山形県内陸を中心に非常に激しい雨が降り、鶴岡市にある湯殿山雨量観測所（国交省）では累加雨量278mm（既往第1位）を記録した。
- ◎この降雨により、赤川の羽黒橋水位観測所では避難判断水位を超過したほか、同流域の黒川橋・横山・押切の3つの水位観測所において観測史上最高水位を記録するなど、昭和44年8月、昭和62年8月出水に並ぶ記録的な出水となった。
- ◎酒田河川国道事務所では、水防警報や洪水予警報を発令すると共に、鶴岡市・酒田市・三川町の首長と計14回に及ぶホットラインを実施し、自治体の要請により排水ポンプ車を出動させるなど、地域住民の防災行動を支援し、被害の軽減に努めました。

赤川大宝寺（左岸）・地藏俣（右岸）地区



【羽黒橋水位観測所】



【既往ピーク水位との比較】

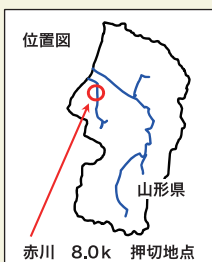
	羽黒橋 水位観測所	
	生起日	ピーク水位(m)
第1位	昭和44年 8月 8日	4.60
第2位	令和 2年 7月28日	4.57
第2位	昭和62年 8月29日	4.57
第4位	平成 5年 7月14日	4.33
第5位	平成25年 7月18日	4.19

Topic トピック

洪水に対してこれまでの河川整備が効果を発揮

赤川河道掘削及び月山ダムによる水位低減効果（令和2年7月）

赤川流域の押切地点では、河道掘削により約1.2m、月山ダムの防災操作で約1.3m、合わせて約2.5mの水位低減効果があったと推測されます。



令和2年7月豪雨

鶴岡市では24時間雨量が観測史上第5位（132mm）となる

記録的な豪雨

〈豪雨による被害・影響〉
 家屋被害：床上浸水2棟
 床下浸水20棟

8.0k 押切地点

水位を約2.5m低減（うち河道掘削1.2m 月山ダム1.3m）



— 河道掘削なし・月山ダムなし
 - - - 計画高水位
 — 実績水位（押切観測所）

河道掘削と月山ダムが無かった場合を想定すると、堤防から水が越水していたと想定されます。

〈計画高水位(H.W.L.)〉
 堤防工事などの基準で、堤防が完成した後は、その堤防が耐えられる最高の水位

災害時の支援

災害で被災した地方公共団体等の早期復旧を支援する「緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)」として、自治体と連携し情報収集や情報提供を行う「災害対策現地情報連絡員(リエゾン)」の派遣や、被災状況の把握など早期復旧を支援する「緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)本体を現地に派遣するなどの取組を行っています。TEC-FORCEは被災状況に応じ、東北のみならず、全国の地方整備局等とも連携し職員を派遣する体勢を整えています。



R1.10台風19号被害(福島県田村郡三春町)
TEC-FORCE活動状況(被災状況調査)



R1.6山形県沖地震(鶴岡市温海)
TEC-FORCE活動状況(技術的アドバイス)

いざというときに備えて

災害や事故に備え、日頃から地元自治体や関係機関との連絡調整や訓練を通じ、連携を図っています。



酒田市水防訓練での
排水ポンプ車による作業訓練



河川の重要水防箇所の合同巡視

地域のボランティア活動による良好な河川・道路環境の創出

地域の大切な財産でもある河川、道路において、清掃活動や、花壇の手入れ、歩道の除雪などの地域の皆様のボランティア活動により、良好な環境の創出にご協力をいただいております。



港南小(現:亀ヶ崎小)による河川清掃
※H26 河川功労者として表彰



国道7号での植樹帯への花植え
鶴岡市由良自治会

学習支援・現場見学

酒田河川国道事務所が担当している河川、道路について、地域の皆様に理解を深めていただく取り組みとして、工事現場の体験会の受け入れ、学習支援を行っています。



工事現場体験会



河川での学習支援
水生生物調査

河川情報の提供

雨や水位の情報提供のほか、河川監視カメラの画像や時系列洪水氾濫シミュレーションもホームページで公開しています。

川の防災情報

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

パソコン・スマートフォン共通

<https://www.river.go.jp/>



河川の水位情報は「地デジ」でご覧いただけます

【地デジ操作方法】

NHK→TVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「防災・生活情報」を選び、さらにメニューの「河川水位・雨量」を選択してください。

R I V E R R O O M
川のことなら何でも相談できます！

川の相談室

川のことなら、何でも(質問、意見、苦情など)相談を受付けていますので、お気軽にお電話ください。

いーな しょおない

0120-17-4095(無料)

●受付時間/平日は午前8:30から午後5:00まで、時間外及び土、日、祝祭日は留守番電話での対応となっています(事務所ホームページでも相談できます)

道路情報の提供

道路の異状は「道路緊急ダイヤル」へ



道路の異状を発見したら...

24時間受付

#9910へご一報ください

「道路緊急ダイヤル」は道路の異状に関して利用者の皆様から情報をお寄せいただき、迅速な対応につなげるものです。

国道だけではなく、高速道路・県道・その他の道路の情報も受け付けております。(※24時間365日対応しております)

R O A D R O O M
道路のことなら何でもおまかせ下さい！

道の相談室

「道の相談室」は、道路に関するあらゆる相談、意見、苦情、質問などを受け付ける窓口です。道路利用者や地域住民の声を道路行政に反映することを目的としています。寄せられた相談やご意見は、正確、迅速な対応に努めると同時に、将来の道路事業に的確に反映することを目指しています。

0234-25-2300

●受付時間/平日は午前9:00から午後5:00まで、時間外及び土、日、祝祭日は連絡員の対応となっています(事務所ホームページでも相談できます)

パソコンやスマホから河川の情報、道路の路面状況、交通規制情報などを知ることができます。

ホームページが見やすくなりました！

パソコンから <https://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>

スマートフォンからも閲覧可能です

※スマートフォン未対応のページもございます。



酒田河川国道事務所 沿革

1980年(昭和55年)
新庁舎(現庁舎)完成、移転

2001年(平成13年)
国土交通省東北地方整備局
酒田工事事務所へ移行

2003年(平成15年)
国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所へ改称



酒田河川国道事務所 Twitter



国土交通省東北地方整備局 酒田河川国道事務所

〒998-0011 山形県酒田市上安町一丁目2-1 TEL.0234-27-3331(代) URL <https://www.thr.mlit.go.jp/sakata/>

河川担当

【酒田出張所】

〒998-0838 山形県酒田市山居町二丁目12-14 TEL.0234-22-3604

【赤川出張所】

〒997-0011 山形県鶴岡市宝田二丁目3-55 TEL.0235-23-2032

【飽海出張所】

〒999-6811 山形県酒田市柏谷沢字内山40-1 TEL.0234-57-2077

道路担当

【酒田国道維持出張所】

〒998-0004 山形県酒田市豊里字南沼田ノ上11-3 TEL.0234-34-2331

【鶴岡国道維持出張所】

〒997-0043 山形県鶴岡市東新斎町11-15 TEL.0235-22-4738

【月山国道維持出張所】

〒997-0331 山形県鶴岡市板井川字宮ノ下325-1 TEL.0235-57-5011